



新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

発行者「礎」荒川一義
平成 28 年 1 月発行 No.45

市長提案理由説明

▼国・地方を挙げて取り組む地方創生は、人口減少・少子高齢化が進行する中でも活力溢れるまちづくりを進めて行く事が大変重要であり、当市では、持続的発展に向けて、10月に「七尾市総合戦略」を策定し、「子育てしやすい環境をつくる」、「雇用を創出する」、「人口減少に歯止めをかける」、「安全・安心な暮らしを守る」4つの柱を掲げ、更なる地域の発展と活性化を目指すとしました。 ▼今年には北陸新幹線金沢開業や能越自動車道の七尾までの全線開通等、交流基盤の充実を追い風に、多くの方が七尾を訪れ、これを一過性のものに終わらせない様に現在、中心市街地観光交流センターの整備なども進めており、引き続き、観光誘客の他、スポーツ合宿や大会、教育旅行の誘致など、様々な取り組みにより交流人口の拡大に努めていると致しました。 ▼去る10月4日には、七尾中学校建設工事の起工式を挙行し、生徒が安心して切磋琢磨できる教育環境となる様に、平成29年4月の開校に万全を期すとしました。 ▼地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の強化をはじめとした、地域活動の拠点となるコミュニティセンター設置に向けた体制づくりを進めているとし、「協働のまちづくり」を一層推進すると致しました。 ▼行財政改革3次プランの下、「公共施設等総合管理計画」を11月に策定し、財政負担の軽減・平準化や、公共施設の適正配置を進めて行くことと致しました。 ▼一般会計補正予算では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,755万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ327億3,930万1千円としました。 ▼今定例会は、一般質問の「一問一答方式」5名「一括方式」7名、計12名が質問に立ち、活発な議論が交わされました。 ▼今議会の概ねについてご報告致します。

■平成 27 年度 12 月補正予算

(1)一般会計の補正予算額 1億9,755万9千円の増額

①一般会計 12 月補正予算の推移

	12 月補正予算額	12 月補正後予算額	対前年比
平成 27 年度	1 億 9,755 万 9 千円	327 億 3,930 万 1 千円	+0.5%
平成 26 年度	6 億 4,379 万 6 千円	325 億 7,327 万 3 千円	△3.9%
平成 25 年度	6 億 1,446 万 8 千円	338 億 9,944 万円	△1.9%

②財源内訳

国庫支出金	8,969 万 9 千円	県支出金	3,023 万 8 千円
分担金及び負担金	219 万円	諸収入	△1,519 万 6 千円
地方交付税	4,433 万 9 千円	繰入金	△5,201 万 3 千円
市債	2 億 7,770 万円		



(2)一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
職員給与費の減額	職員数減等によるもの(退職手当除く)7人(市職)	△122,508	総務課
職員退職手当	早期退職等予定者12人(年度末退職予定者47人)	187,951	
障害者関連福祉サービス実績見込みの増額	障害者自立生活等支援事業	200	福祉課
	障害者医療費等助成事業	3,418	
	障害者自立支援給付費	28,264	
	障害児給付費	1,143	
私立保育園所運営費	国の公定価格の単価改正に伴う委託費及び給付費 多子世帯保育料無料化事業に伴う給付費の増額	105,356	子育て支援課
機構集積協力金交付事業	協力地域：飯川町、細口町、盤若野町、白浜深見、 中島町町屋、中島町鳥越、中島町上畠、中島町上町 経営転換対象者：3名	41,022	里山里海振興課
広域的誘客対策事業	高岡七尾バスルート構築実証運行の継続 運行経路：高岡駅→新高岡駅→氷見番屋街→ 七尾駅→和倉温泉 運行本数：4往復/日 運行期間：平成28年1月～3月	1,700	観光交流課
湯元和倉温泉駅線整備事業	電線地中化工事延長 120m → 340m 道路改良工事延長 210m → 430m	29,117	都市建築課
消防統合庁舎整備事業	七尾西消防署建設に伴う実施設計業務委託費 開所日：平成29年4月 鉄骨平屋建 建物概要：建築面積 1,185.21㎡(358.5坪)	2,000	消防本部庶務課
漁港等災害復旧事業	平成27年9月9日の台風18号による復旧費 庵漁港：北護岸→延長59.7m 捨石基礎→59.7m 被覆ブロック修繕延長→33.5m	18,400	土木課
林業施設災害復旧	林道城石線災害復旧工事の現地精査	13,997	農林課

(3)特別会計の補正予算額

2,163万8千円の増額

	補正予算額	主な内容
ケーブルテレビ事業	△49万5千円	人事異動等に伴う職員給与費の整理
国民健康保険	△528万2千円	〃
介護保険	905万2千円	〃
簡易水道事業	140万9千円	給・排水管などの修繕
下水道事業	1,695万4千円	公共下水道施設管理費など
計	2,163万8千円	

(4)企業会計の補正予算額

①水道事業会計

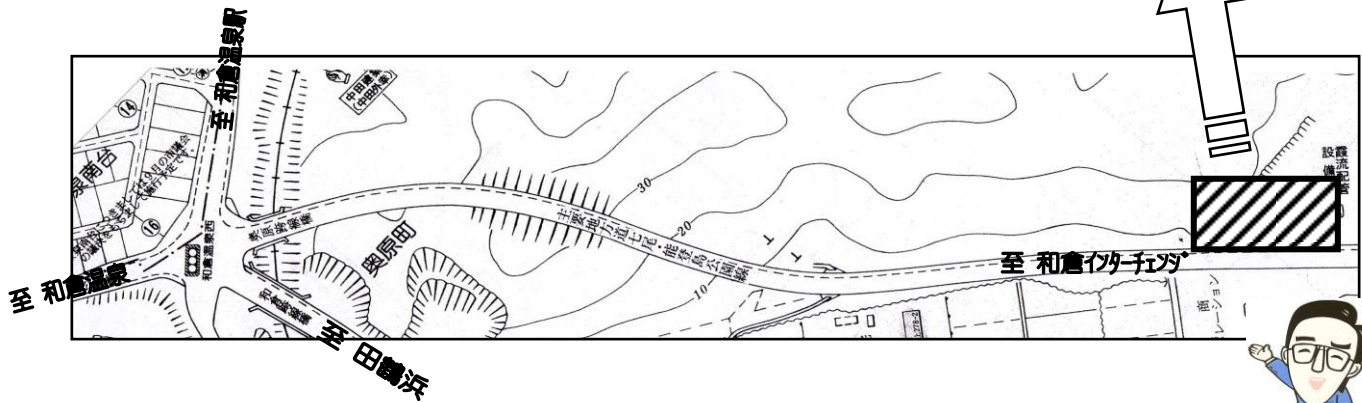
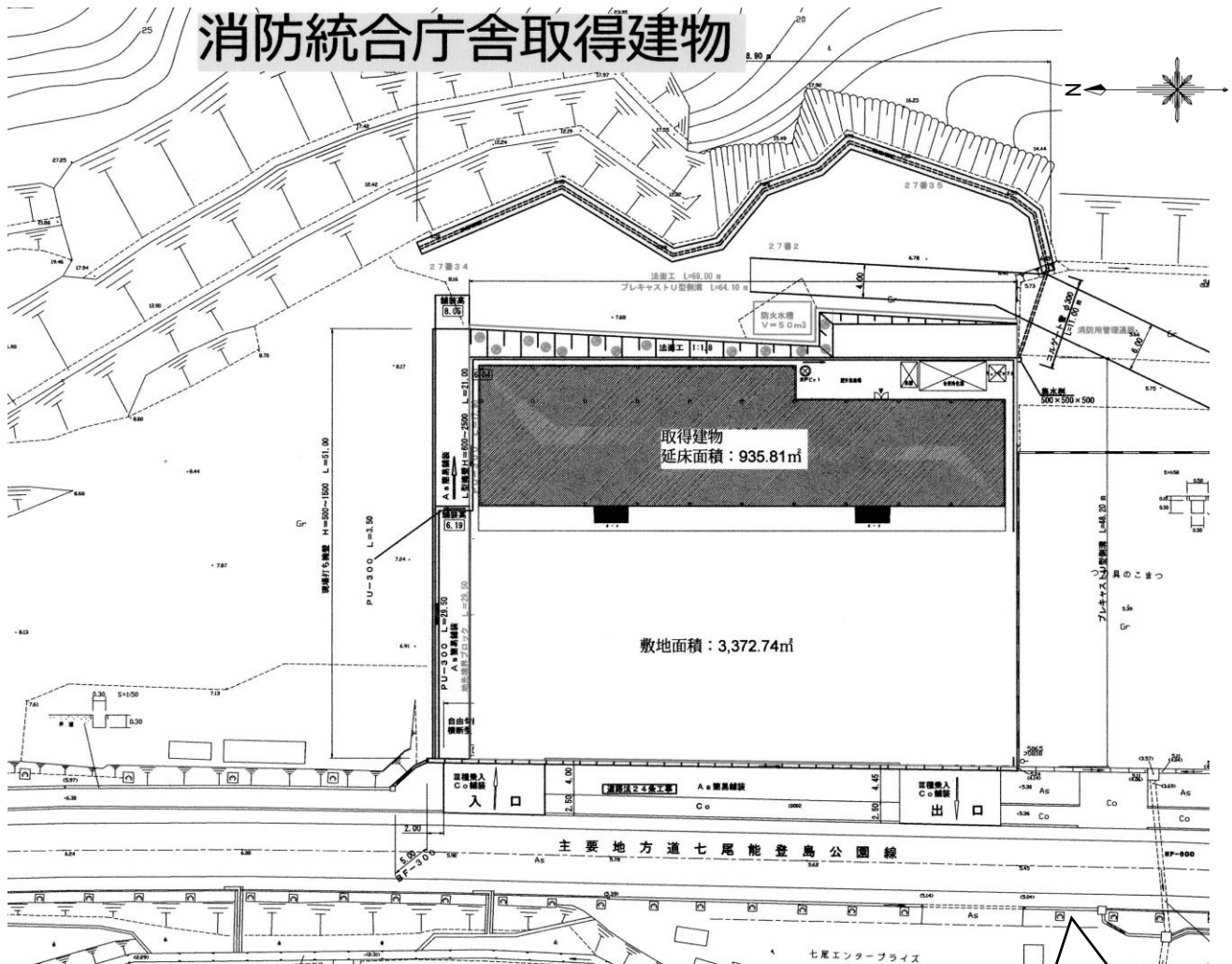
1億3,139万6千円の増額 (職員給与費及び減価償却費の整理)

②病院事業会計

827万5千円の減額 (職員給与費、薬品費などの整理)



消防統合庁舎取得建物



■消防統合庁舎整備事業	
事業期間	平成 27 年度～平成 28 年度(平成 29 年 4 月開所予定)
統合対象	和倉分署、田鶴浜分遣所、徳田分遣所
用地面積	3,372.74 ㎡(1,020.25 坪)
建物(建築)面積	1,185.21 ㎡(358.53 坪) 鉄骨平屋建
延べ床面積	935.81 ㎡(283.08 坪) 鉄骨平屋建
現在までの事業費	用地測量及び建物補償 1億 2,300 万円
	実施設計業務委託(建物改築) 200 万円

【議会質問】

■企業誘致と人材確保



質問「七尾市産業振興プラン」では“地域に根差した産業の存在が欠かせない”とし「地域産業政策」の重要性を示しています。とするならば、企業誘致も『地場産業との連携を生むようなターゲットの設定』をし、この事を戦略的に進める「戦略型企業誘致」のあり方が重要だと考えます。人材確保とあわせて考えを伺います。

産業部長答弁 正にその通りであり、数を打てば当たるのではなく、地元企業と相乗効果が出るような誘致、又は誘致した企業と同じ業務ではないとしても関連するような企業誘致をするなど、戦略的でより早く、より効果的、より成功率が高い企業誘致を今後進めていく事を考えています。労働不足に係る人材については、本市や市内企業が加盟する、七尾鹿島雇用対策協議会で企業ガイドブック等を作成し、人材確保に取り組んでいます。又、石川県と能登地域の市と町で構成する、能登地域活性化人材確保推進実行委員会に於いて、能登地域の企業をターゲットとして人材確保を支援するため、能登就職フェア等を開催しています。

■テレワークの推進とクラウドソーシング



質問近年、政府の後押しで、地方の移住者が都心の仕事を地方で請け負う事が出来る様に、移住者向けの地方版テレワークに、自治体や企業が力を入れ始めました。都心の企業がインターネット環境を利用して仕事を提供し、地方へ新たな移住を増やす事を狙いとするもので、その拠点は廃校の小学校などで開設しています。クラウドソーシングは、在宅就労支援として主婦の新しい働き方の創出として話題を呼んでいます。子育て世代の収入増を目指すと共に、子育てしやすい環境づくりを目指し、定住促進にもつなげていくと言う事です。これらの取り組みについて市の考えを伺います。

産業部長答弁 テレワークは新しい働き方の一つであり、総務省は今年 27 年度に 15 地域で事業を採択し、地方で暮らしながら IT を活用して都市部の仕事をする「ふるさとテレワーク」を推進しています。クラウドソーシングは、すでにウェブ上で働き手を募集するサイトがありシステム化されています。この二つとも新しい働き方であり、子育て世帯のライフワークに変化を与えるものと思われます。今後は、七尾商工会議所や能登鹿北商工会と共に、この制度について勉強して行きたいと思っています。

■市内図書館全体の施設改革



質問行財政改革 3 次プランに示されている図書館について、市内には商業施設や文化施設と複合化した大きな図書館が 2 館と、市民センターなどに配置され直営で運営されています。利用が少なく一般財源の大きな図書館もある事から、より効果的な運営や利用者の増加を図らなければなりません。市内図書館全体の施設改革の考え方について伺います。

教育長答弁 七尾市立図書館は、中央図書館をはじめとして本府中図書館、田鶴浜図書館、中島図書館で現在組織されています。その内、本府中図書館は中央図書館と近距離に位置しており、機能や利用者構成も大変にかよっており、公共施設の適正配置の観点から今後、集約について検討して行きます。現在は具体的な集約計画はありませんが、この様にかよった二つについては、今後、具体的な検討策を講じて行きます。

※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に基づき、遠慮させていただきますのでご了承願います。

